

銀杏坂タイム

◎ 仙台市子供相談支援センター

所長 大友 重明

仙台市青葉区錦町 1-3-9

TEL 022-214-8602 (相談支援係)

022-214-8848 (青少年指導係)

第 139 号 令和 3 年 10 月 4 日

9月の電話相談やふれあい広場から

9月も、当センターには、多くの電話相談が寄せられています。「子育て何でも電話相談」も「ヤングテレホン」も「夏休み明けの不登園や不登校」に関する内容が増えておりますが、電話を通して相談者の気持ちが軽くなるようしっかり受け止めることを心掛け、ケースによっては関係機関を紹介することもあります。また、最近保護者から「先生に言っているのか迷って。」「忙しい先生方に申し訳ない。」という言葉がよく聞かれます。内容にもよりますが、お子さんのために学校と家庭が連携することは大切ですので、担任、学年主任、養護教諭、管理職など相談しやすい先生に伝えることをおすすめしています。

ふれあい広場の通所者は、本体でもサテライトでも、自分のペースで学習したり、ゲームや会話を通して人との関わりを広げたりしています。子供たちの頑張りを見ようと、学校の先生による見学も増えてきています。広場での学習の様子を直接褒めてもらったり、ゲームをしながら会話を弾ませたりして関わっていただきました。先生によっては「こんなに明るい表情で過ごしているのか」と驚かれて帰校されます。先生と子供たちが信頼でつながれるよう、今後も広場見学を進めていきます。



少年の主張各区大会がありました！！

仙台市内の中学生による、令和3年度少年の主張大会が開催されました。「中学校生活の中で感じたこと」「自分自身の思いや考え」「家族との関わり」などをテーマに、各中学校の代表生徒が、それぞれの熱い想いを発表しました。コロナ感染症対策ということで、無観客で行われましたが、感性豊かな中学生の主張に審査員から称賛の拍手が送られました。

また、11月20日(土)に、日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)を会場に、『仙台市児童・青少年健全育成大会』を開催します。その中で、少年の主張各区大会の最優秀賞受賞者による、少年の主張の発表を行う予定です。

【最優秀賞受賞者】

青葉区 『心の傷』	仙台市立台原中学校	3年 淀野 愛琳さん
宮城野区 『コロナ禍で気づいた大切なこと』	仙台市立幸町中学校	3年 鈴木 心晴さん
若林区 『私の弟』	仙台市立八軒中学校	3年 久保田 菜々子さん
太白区 『共に生きる未来へ』	仙台市立中田中学校	3年 若木 千鶴さん
泉区 『私にできること』	仙台市立根白石中学校	3年 庄司 菜々花さん

★「少年の主張仙台市各区大会」の様子は、仙台市児童・青少年健全育成推進会議のホームページ(<https://www.growing-up-sendai.com/>)で映像配信を10月下旬予定で進めております。ぜひ御覧になってください。

10月のセミナーが開講しました！！

～子育てに生かす家族のコミュニケーション 三日目～

令和3年10月25日（月）午後6時30分～午後8時10分

「発達に特性のある子どもの理解」

宮城教育大学 教授 植木田 潤 氏

～子育てセミナー～

『安心感を持って子育てをするために』

講師：国土交通省東北地方整備局 外部カウンセラー 加藤和子氏

このセミナーは、乳幼児を持つ保護者の方が元気に子育てしていくためのものです。今年度は、子どもの育ちや関わり方について学ぶとともに、子育て中の気持ちをホッとやわらげるコツについて考えます。講座終了後には、日頃の子育てを頑張っているママ・パパの気持ちが、きっと少し軽くなっていると思いますよ。

日時：令和3年10月12日（火）
10：30～12：00



この二つに関しては、まだ申し込みが可能です。

- ① セミナー名
- ② 参加希望日
- ③ 申込者の住所
- ④ 氏名（ふりがな）
- ⑤ 電話番号
- ⑥ メールアドレスまたはFAX 番号を明記し、EメールまたはFAXでお申し込みください。E-mail fuk005390@city.sendai.jp FAX 022-262-4761

サテライトの学びや関わりを紹介します

9月は様々な活動の中で、子供同士で仲良くゲームを行う姿が見られました。

ふれあい広場サテライトでは全拠点に任天堂スイッチを用意しています。いつも「そろそろゲームしようぜ！」とお互いに声を掛け合って、みんなで一緒に楽しくゲームを行っています。

今月は小学生の男の子が新たに登録となり、一人仲間が増えました。初めて通所した際に、早速「何のゲームが好き？」とゲームの話題でつながり、輪の中に入ることができました。

こんな出来事がありました。ゲームを進めていくと、ふとしたことをきっかけに口論が起きたのです。ゲームの進め方について折り合いが合わず、ピリピリした雰囲気でお互いに言いたいことを言い合っていました。

翌日、その男の子に話を聞いてみると、「昨日はやりすぎてしまったから反省している。今日は気を付ける。」と、前日の自分の振る舞いを反省した様子で、その後は周りに気を使いながら、楽しそうにゲームをしていました。

ふれあい広場サテライトで、子供たちはゲームを一つのツールとして友達と関わるきっかけを得たり人間関係を学んだりしています。自分が好きな物だからこそ、それに関わる相手と素直に向き合えるのかもしれませんが、今後も子供が好きな様々なものを通してサポートしていきます。